

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和3年3月30日
九州地方整備局
菊池川河川事務所

『菊池川水系流域治水プロジェクト』を公表します
～日本遺産「菊池川流域の米作り」の保全及び流域市町を水害から守る流域
が一体となった防災・減災対策の推進～

「流域治水」に関する地域での取組を推進するため、河川整備に加え、流域のあらゆる関係者が協働して行う対策も含めた治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめたものを公表します。

<概要>

近年、全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、企業等のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していくことが必要です。

このため、あらゆる関係機関が参画する流域治水協議会を立ち上げ、関係機関が協働して流域治水プロジェクトの策定に向けて協議を進めて参りました。

本日、菊池川水系において、流域治水プロジェクトを公表します。

本水系における流域治水協議会に関する情報は、以下のページに掲載しております。

【菊池川流域治水協議会】

http://www.qsr.mlit.go.jp/kikuti/flood_control_project/index.html

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 菊池川河川事務所
副 所 長 橋口 幸生
調査課長 南 知浩
電話：0968-44-2171（代表）

菊池川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～日本遺産「菊池川流域の米作り」の保全及び流域市町を水害から守る流域が一体となった防災・減災対策～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、菊池川水系においても、山岳地帯から中央の菊鹿盆地を流れ、玉名平野を流下し、干満差が大きい有明海に注ぐという地形特性から、大規模災害による浸水被害の影響が長期化する特性を踏まえ、堤防整備や河道掘削などの事前防災対策を進めることで、国管理区間においては、戦後第2位となる昭和57年7月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成2年7月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

【位置図】



凡例

- 浸水範囲（実績）
（戦後最大のH2.7洪水）
- 大臣管理区間



ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組

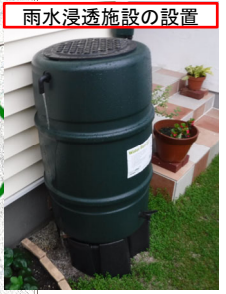
要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

森林の整備・保全、治山施設の整備

砂防関係施設の整備



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・河道掘削、堤防整備、堰改築、橋梁架替、防災拠点整備等
 - ・開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置を指導
 - ・雨水浸透施設（雨水浸透ます、浸透管等）の設置を推進
 - ・ため池の補強・有効活用
 - ・農業水利施設の整備
 - ・森林の整備・保全、治山施設の整備
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・雨水ポンプ場の更新
 - ・竜門ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、熊本県など）等



- 被害対象を減少させるための対策**
- ・防災拠点の整備（高台整備）
 - ・立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・水位計・監視カメラの設置
 - ・地区別ハザードマップの作成
 - ・ため池ハザードマップの作成
 - ・地域の避難体制強化
 - ・防災メール、防災行政情報伝達システム、防災行政無線の活用、戸別受信機の設置など情報発信の強化
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
 - ・要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

..... 市町村境 ——— 流域境

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

菊池川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～日本遺産「菊池川流域の米作り」の保全及び流域市町を水害から守る流域が一体となった防災・減災対策～

- 菊池川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】平成24年7月洪水で被災した熊本市街地（北区植木町）等での重大災害に対応するため、合志川の改修を優先的に実施し、併せて菊池川中流部の流下能力を確保するため河道掘削及び樹木伐採を実施。また、県管理区間においても河道掘削や護岸整備等を実施するとともに、安全なまちづくり（立地適正化計画に基づく防災指針の検討等）や内水被害軽減対策（雨水貯留施設の新設等）等の流域における対策、地区別ハザードマップの作成等のソフト対策を進めることで、流域内の被害軽減を目指す。
 - 【中期】引き続き、流量増に対する受け皿が必要となることから、菰田橋の架替えを実施し、併せて菊池川上流部及び各支川の河道掘削及び堰改築等を実施し、また県管理区間においても砂防関係施設の整備等を実施する事で、流域内の被害軽減を目指す。
 - 【中長期】菊池川上流部及び各支川の浸水被害を防ぐため、堰改築や築堤等を実施し、また、県管理区間においても森林整備や治山整備等を実施する事で、流域全体の安全度向上を図る。

- 河川対策（約192億円）
- 砂防対策（約7億円）
- 下水道対策（約3億円）

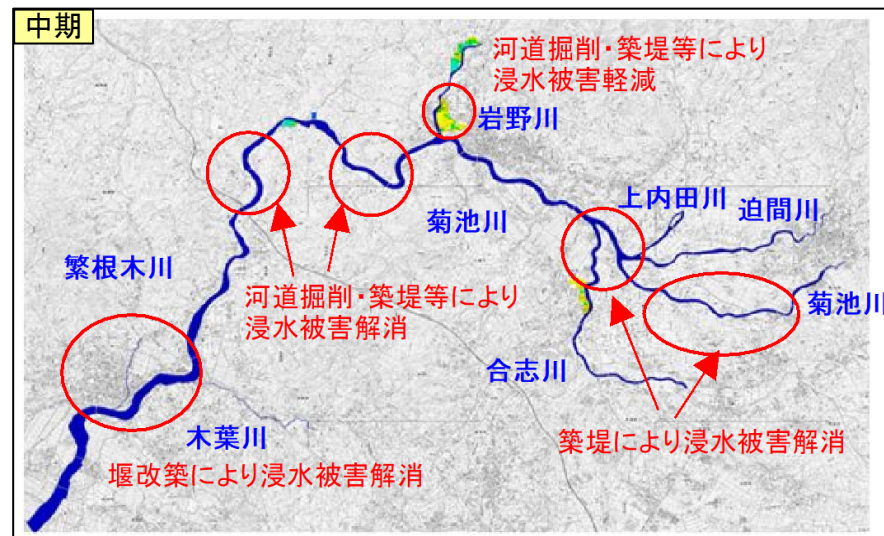
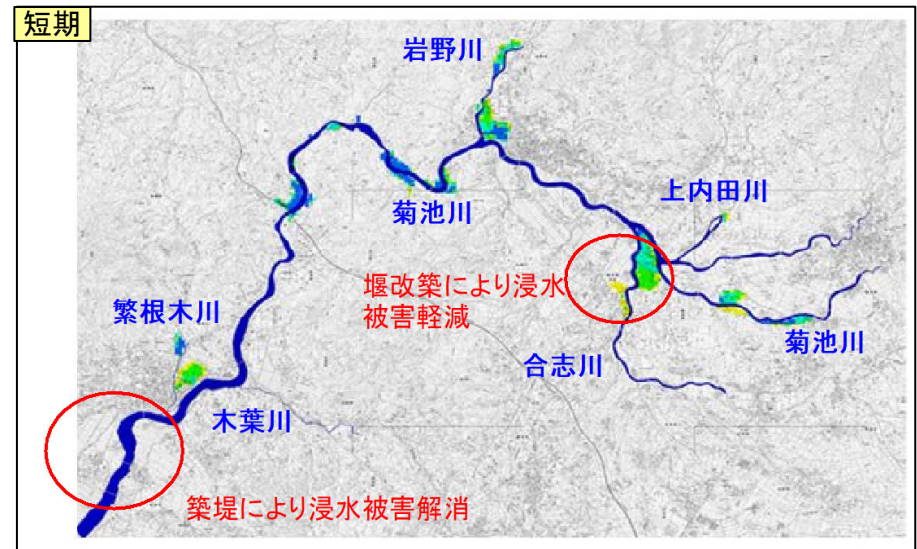
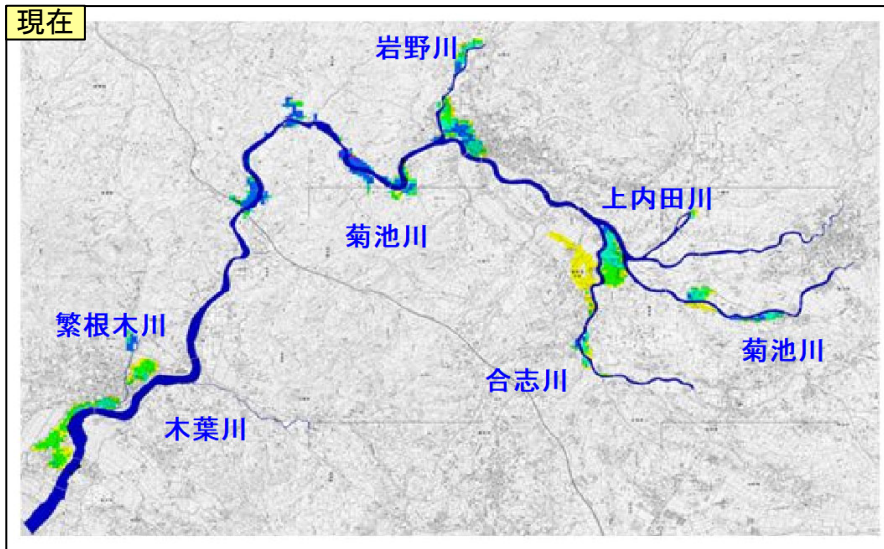
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築等	国土交通省、熊本県、南関町、大津町	本川中下流部、支川等河道掘削 本川中下流部堤防整備、橋梁架替		
	農業水利施設の整備	熊本市等	本川上流部、支川堤防整備 菰田橋架替		
	砂防関係施設の整備	熊本県等			
	竜門ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	国土交通省等			
	森林の整備・保全、治山施設の整備	熊本県、熊本森林管理署、森林整備センター熊本水源林整備事務所等	間伐等による森林の整備・保全、治山施設の整備		
	ため池の補強・有効活用	菊池市、玉東町等			
	雨水ポンプ場の更新	山鹿市			
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	国土交通省等	防災拠点の整備（高台整備）		
		熊本市、菊池市、玉名市等	立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	熊本市、玉名市、和水町、山鹿市等	防災メール、防災行政情報伝達システム等を活用した情報発信の強化 地域の避難体制強化等		
	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	熊本県等	水防警報システムの改良 水害リスク空白域の解消（水位周知河川以外の河川の氾濫推定図の作成）		
	避難体制等の強化	国土交通省、熊本県、熊本市、玉名市、山鹿市、大津町等	地区別ハザードマップの作成、統合形ハザードマップを活用した情報発信 ため池ハザードマップの作成、ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組等 要配慮者施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保等		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

菊池川水系流域治水プロジェクト【効果】

～日本遺産「菊池川流域の米作り」の保全及び流域市町を水害から守る流域が一体となった防災・減災対策～



中長期

浸水被害解消

※直轄管理区間において、昭和57年7月洪水と同規模の洪水が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破堤させた場合の氾濫想定範囲